



上山佐地区のイチオシ!

まちの タカラ

天馬山から地域へ活力を ～魅力を再発掘、再生会議～



▲取り組みについて説明する加藤会長。天馬山山頂の東屋にメッセージノートを置くなど、来てくれた人の声を大切にしています。
◀令和4年6月に行った天馬山の草刈りに参加した皆さん。

上山佐地域にある天馬山を知っていますか。戦国時代には、自然の険しい地形を利用した防衛拠点として小規模ながら重要な役割を持っていた標高251mの山で、一昨年頃に天馬岩（直径6mの割れ石）で全国的に有名になりました。

その人気を支えたグループがあります。名前は上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議（以下、再生会議）。地域の活力を取り戻そうと、平成23年にできた地域住民約30人からなる組織です。地域ビジョンの策定や、地域の人があふれあうイベント、県道の草刈りなど、地域のために幅広く活動しています。

天馬山に関して再生会議では、天馬岩についての説明看板の設置や重機を利用した大規模な登山道の整備、山頂の東屋の改修など多岐にわたる整備を実施。再生会議会長の加藤英俊さんは「ベンチがほしい、歩きにくい場所があったなど、訪れた人の声を大切にして整備を進め、上山佐内外から気軽に遊びに来て、楽しんでもらえる場所にしたいです。」と話しました。

天馬山は未舗装路を走るトレイルランニングというスポーツに最適という声もあります。今後も再生会議では、このような新しい魅力の発見・再確認を通じ、天馬山を含めた上山佐地域全体への愛着を持ってもらうことを目標に取り組みを続けていきます。

編集後記

▼1月15日まで、夜間の安来庁舎付近で「どじよナリエ」のイルミネーションが点灯していました。庁舎内から見えるのは一部分だけですが、それでもあたりが一気に華やかに。寒い帰り道への憂鬱さが軽減された気がします。今まで点灯期間に近くで見なかったのが悔やまれますが、今回はその分楽しみました（岩）
▼安来節を題材に安来高校の生徒が手がけた青春漫画。若者に手に取ってもらいたいやすいよう恋愛・ライバル・成長の要素を盛り込んでいます。その由来には、漫画家であるふさたろうさん（京都府在住）が太鼓判を押します。左記2次元コードからアクセスできます。ぜひ、ご覧ください（一）



安来市の人口と世帯数 R4.12.31現在

人口合計 / 36,391人
(男:17,518人 女:18,873人)
世帯数 / 14,268世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課（☎23-3067）までご連絡ください。